土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　主要地方道呉環状線　災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	H30-Br-17	**調査位置**	広島県呉市焼山町地先			**北　緯**	34° 17′ 51.22″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2019年　7月　8日 ～ 2020年　7月 17日	**東　経**	132° 32′ 20.97″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 183.93m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下　D-1B58		
総削孔長	23.00m								**エンジン**	YANMAR製　NFD-12	**ポンプ**	BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	183.68	0.25		表土		黒褐				植物を多く含む粘性土。	
1				崖錐堆積物						真砂状を呈し，上部は風化され粉末状～砂状，下部に伴い砂状となる。	07/13 1.92
	182.03	1.90								花崗岩の風化帯であり真砂状を呈し，下部に伴い礫状部が見られる。	07/16 2.65
2											
3											
4										コアは所々で礫状となる。	07/17 4.35
5											
6											
7										8.45m～ダイヤボトム掘行う。	
8											
9											07/16 9.00
10										コアは手で容易に折れる。	
11										12.75mより岩質硬くなる。	
12				花崗岩		褐					
13										12.85mまでは岩質硬くなる。部分的に礫状で短柱状であるが，コアは手で折れる。	
14											
15											
16										16.10～16.20mは柱状コア，16.20～16.40mまで岩質硬くなる。亀裂非常に多く礫状コア，部分的に短柱状コアあり。全体的には手で折れる。	
17											
18											
19										18.65～18.80mまでは柱状コア。	
20											
21										20.00～21.00m間はコア詰まりのため試料バラバラ。全般的に試料は手で折れる。	
22											
23	160.93	23.00									

標準貫入試験 深度－N値図 0 10 20 30 40 50	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	29	1.15	8	10	11	29/300		
		1.45						
	75	2.15	23	27		50/200	200	
		2.35						
	188	3.13	50/80			50/80	80	
		3.23						
	125	4.05	43	7/20		50/120	120	
		4.17						
	125	5.05	39	11/20		50/120	120	
		5.17						
	136	6.10	45	5/10		50/110	110	
		6.21						
	107	7.10	33	17/40		50/140	140	
		7.24						
	125	8.05	41	9/20		50/120	120	
		8.17						
	167	9.05	50/90			50/90	90	
		9.14						
	300	10.00	50/50			50/50	50	
		10.05						
	500	11.00	50/30			50/30	30	
		11.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					7/11
					7/12
					7/13
					7/16
					7/17